

Inner Peace ～内なる平和～

レンタ・ングリエ

奨励者紹介[れんた んぐリエ]
アジア学院 研究科生
リャンマイ・バプテスト教会牧師

わたしは、平和をあなたがたに残し、わたしの平和を与える。わたしはこれを、世が与えるように与えるのではない。心を騒がせるな。おびえるな。

(ヨハネによる福音書 14章27節)

今日ここで皆さんと神の言葉を分かち合う機会に預かり大変光栄に思います。私が皆さんにお話しするテーマとして選んだ「内なる平和」は、ヨハネによる福音書14章27節「わたしは、平和をあなたがたに残し、わたしの平和を与える。わたしはこれを、世が与えるように与えるのではない。心を騒がせるな。おびえるな」という箇所についてのものです。

まず始めに私の証からお話したいと思います。

悲しみを越えて

結婚した後、私と妻は赤ちゃんの誕生を心待ちにしていました。そして私たちは期待通り美しい女の子を授かりとても幸せでした。彼女は成長し、美しく頭の良い、従順な子に育ちました。彼女は私たちが待ち望んでいた通りの子でした。私たち夫婦は彼女のためにたくさんの夢や未来を思い描きました。

しかしある運命の日、娘は友達と通学中、学校の近くにある魚の養殖池に落ち、帰らぬ人となりました。それは私たち夫婦にとって最も暗く辛い出来事でした。私たちの心は引き裂かれ、思い描いていた夢や計画はすべて打ち砕かれてしまいました。それは私たちにとっては、世界の終わりとも言える出来事でした。私たちはこの地球で生きる意味を失い、娘の後を追って死のうとすら考えました。何日も何カ月も私たちの心は悲しみに沈んだままでした。友人や隣人が慰めようとしてくれましたが、私たちが癒されることはありませんでした。しかしある日、私たちがこの聖書箇所を読んでいた時、私たちの心に安息をもたらすためには、このイエス様の平和が私たちの心にもたらされるよう神に祈る必要があることに気づきました。私たちの上にも夜明けが来るように祈り続けていると、少しずつ心の中にイエス様の平和が近づいて来ました。私たちは悲しみと苦しみを克服し、忘れることができるようになりました。私たちは人生の中で心の平和とは何かということを体験しました。

本当の平和

私たちには平和が必要です。しかし、何が本当に平和をもたらすのでしょうか。

平和とは、ただ問題や困難がない状態のことでしょうか。

平和とは、ただ平静で静かな雰囲気のことでしょうか。

世の中は以上のように捉えているようです。私たちの身の回りにあるものごとが関係しているということです。

例えば、都会の喧騒の中ではなく、植物園の中を散歩していたとしたら、平和だと言うかもしれません。

もしも平和が、騒音や問題、困難がないことを言うのであれば、平和とは私たちを取り巻く環境の産物です。

しかし、ここでイエス様の言われたことを見てみると、これらは本当の平和ではないことがわかります。

イエス様が「わたしは、平和をあなたがたに残し」と言うのは、イエス様が平和の源であるということに他なりません。

イエス様が「わたしの平和を与える」と言うのは、イエス様が平和を与える方であるということです。

イエス様が「わたしはこれを、世が与えるように与えるのではない」と言うのは、イエス様の中だけに私たちは真の内なる平和を見いだせるということです。それは世界にはない何かです。

言い換えると、それは皆さんとは関係なく、また今日世間で起きている出来事や、私たちを取り囲んでいるものではありません。

イエス様の平和は、世間の言う平和とは異なります。そしてそれは私たちが世の中に見いだせるものではありません。

神に委ねる

もし私たちの中の誰かが何かに悩み、不安を抱き、苦しんでいて、心に平和を必要としているとしたら、私たちはキリストへ心を向けなければいけません。それがただ一つの方法なのです。

人がストレスや落胆や不安に苦しむのは、人がその状況や問題をコントロールしようと自分自身を頼りにするからです。

私たちは物事を自分のコントロール下に置きたがります。自分の力ではどうにもならないような問題が起こり、一度そのコントロールを失ってしまうと、私たちは落胆し、生きる希望を失ってしまいます。

でももし神が偉大な統治者であるということを信じているなら、何も恐れることはないはずです。私たちは神に全てを委ね、神の助けを受け入れることを学ばねばなりません。

私たちが必要とする全てを司る存在に何もかもを委ねる。そうして初めて私たちは本当に平和でいられるのです。

神が私たちに求めているのは、私たちの問題や必要としていることの全てを神に委ねることです。そうして私たちは神の平和を体験することができるのです。

私たちの信頼を、全てを司る統治者である神に捧げましょう。

私たちの背負う重荷を神の御手に預け祈りましょう。

信仰の中で、神からの贈り物である平和を受け取りましょう。

神の平和、父と子と聖霊が、あなたと共にとこしえに安らかにありますように。アーメン。

2016年11月9日 京田辺水曜チャペル・アワー「奨励」記録